

新道の駅の全体計画は

道路・観光が一体となった施設



議員 昆 清 (新 生 会)

問 山田ICに近接する「新道の駅」の建設計画について、その全体計画の具体的内容は。

佐藤町長 基本設計業務に着手し整備内容の策定を進めており、産直施設、飲食施設、24時間トイレ、道路・観光情報コーナー等が一体となった建物施設をはじめ、駐車スペース、イベントスペース、子どもたちが遊べる緑地広場等を設置する計画である。特に飲食施設については、カキをはじめとした当町の特産品をバーベキューなどで自ら調理して飲食できる施設を考えている。また、新道の駅を訪れる観光客等に対し、映像技術の活用による無人島体験ツアーやマリントーリズム並びにマリントーリズム

の体験案内を行う情報発信基地としてオランダ島と相乗効果を図りたい。



新道の駅建設予定地の柳沢地区

新たな水産振興は

海面魚類養殖の事業化を目指す

問 水産振興として新しい増養殖技術の確立や養殖魚種の研究開発に着手するようだが。

町長 地球温暖化による海洋環境に対応した漁業を推進していくため、健康なサケ稚魚の育成試験、また、アサリ増産に

向けた干潟の環境保全やカキ殻の海底敷設によるナマコ増殖試験に取り組む。新しい養殖魚種の研究開発として、トラウトサーモンなど海面魚類養殖の事業化に向け、実証試験の着手を検討しているところである。

山の内地区のバス計画は

コミュニティバス化の検討

問 三陸鉄道再開以降、山の内地区を通る公共バスがなくなり、皆様が不便をされているが循環バスの計画変更等により、利便性を高める計画はないか。

ティバス化を進める中で検討していきたい。

町長 交通弱者や高齢者の移動手段の確保、交通空白地の解消は「山田町地域公共交通網形成計画」で重要課題として捉えている。バス事業者に対して運行の可能性について打診・要望するとともに、町独自として公共交通の利便性、交通不便地域の解消に向けた取り組みとして、「まちなか循環バス」の本格運行、「患者輸送バス」のコミュニティ



公共バス運行が待たれる山の内地区

その他の質問

- ◆ コロナ禍の観光振興について
- ◆ 技術職員不足の解消について
- ◆ ケアマネージャーの現況について